



全ての市民が平等に気軽に利用できるサードプレイスとしての交流拠点とします。
光あふれる“みんなの広場”を中心に、にぎわいの創出・防災機能の充実・歴史文化
の継承・安心安全などバランスの取れたウェルビーイングな広場づくりを提案します。
広場全体が活動を通じた、まちの交流広場となります。また、全体に防災広場の機能を持たせます。

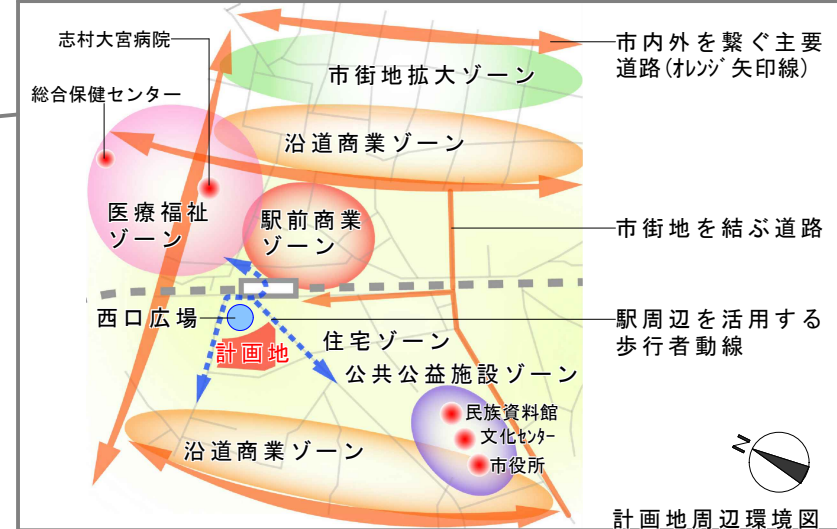
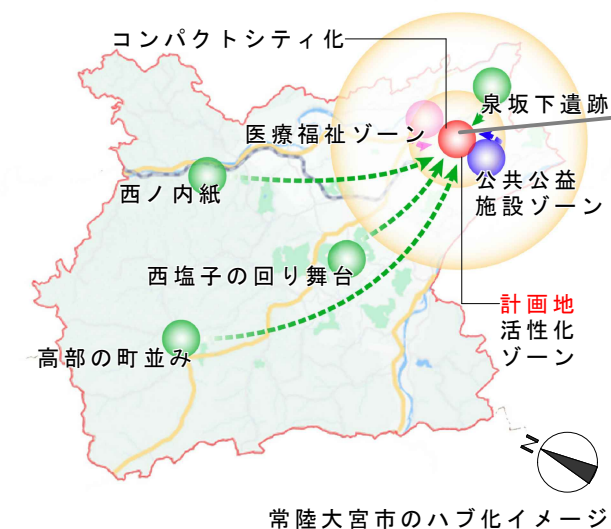


○広域計画

交流拠点ゾーン(計画地)周辺はコンパクトシティ化に向け様々な機能が集約してきています。ここに、広域に広がるカルチャーネットワークを繋ぎ、常陸大宮市のハブ化を図ります。地域全体の魅力が高まる新しい文化を育める場を考えます。

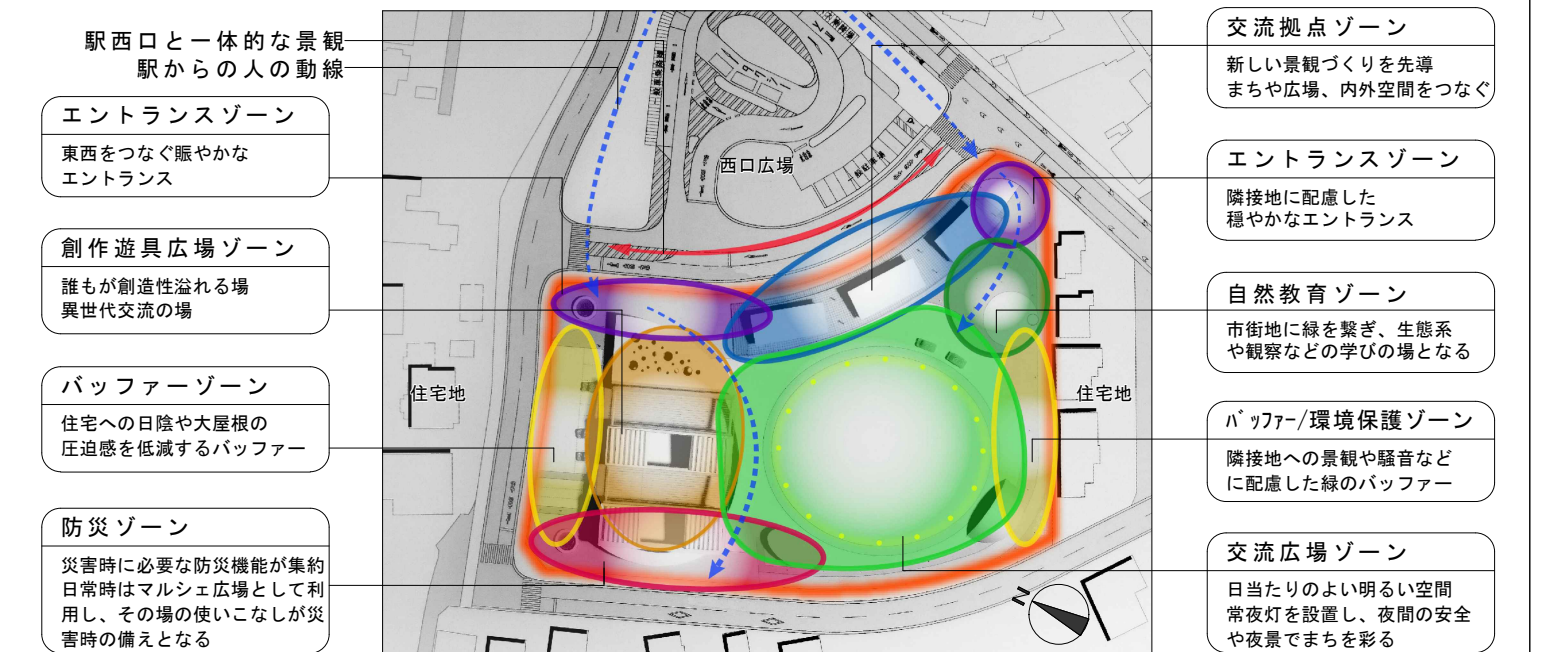
○計画地周辺との関わり

計画地周辺は住宅地に囲まれながらも、医療・福祉、商業、公共、文化などの機能が隣接しています。それらを駅や旧道、バイパスといった交通体系が結んでいます。多様な機能を結ぶ核として、新しい街の景観を先導しながら、安心安全な生活環境、豊かな自然環境、地域の広報環境、歴史文化等が集積する公園を考えます。



○新しい街の景観をつくるゾーニングイメージ

駅前の立地特性を考慮し、多様な人々の流れを導きつつ、このまちの歴史、文化、自然をベースに新しい景観を創出します。また、周辺の住宅地に配慮したバッファーを設け、良好な生活環境を創出します。バランスよく配置された機能が交じり合い、「ひとの輪」を育む場を考えます。



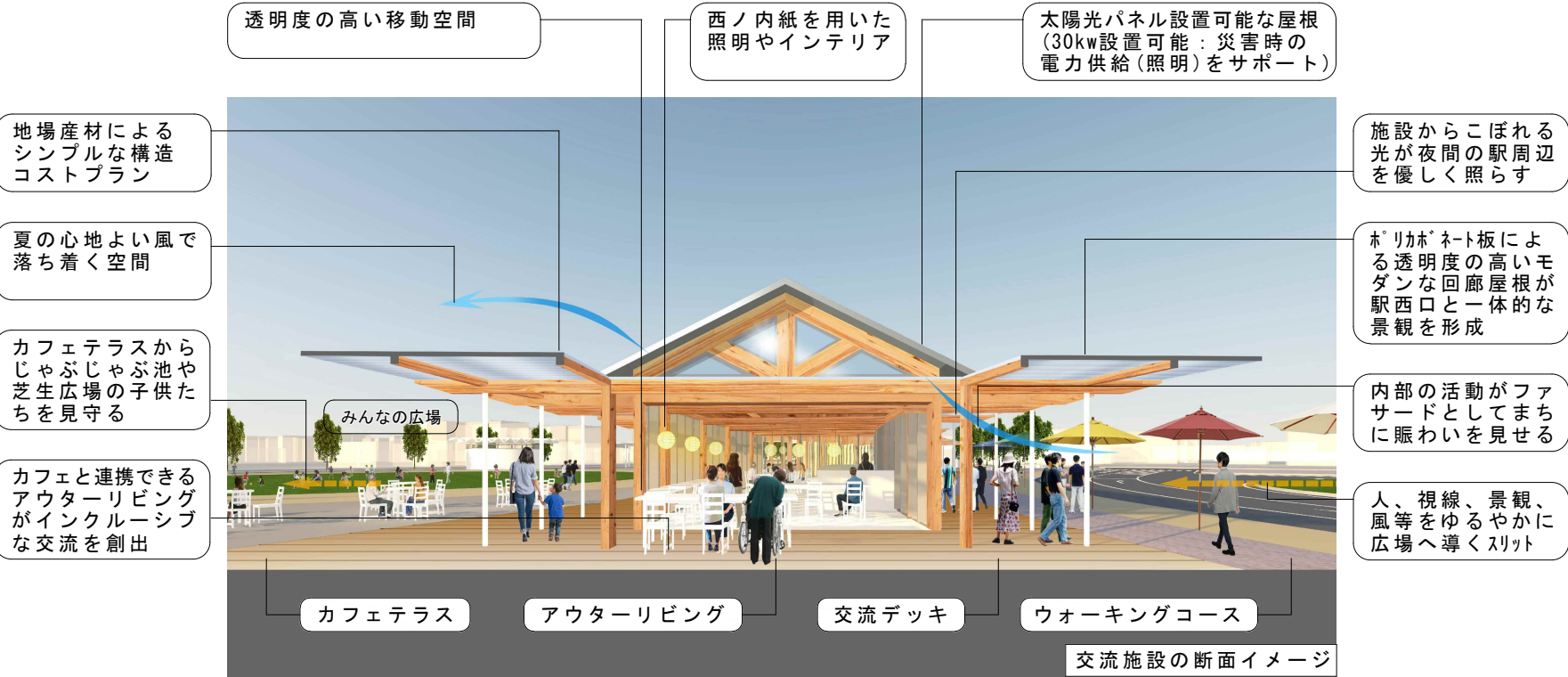
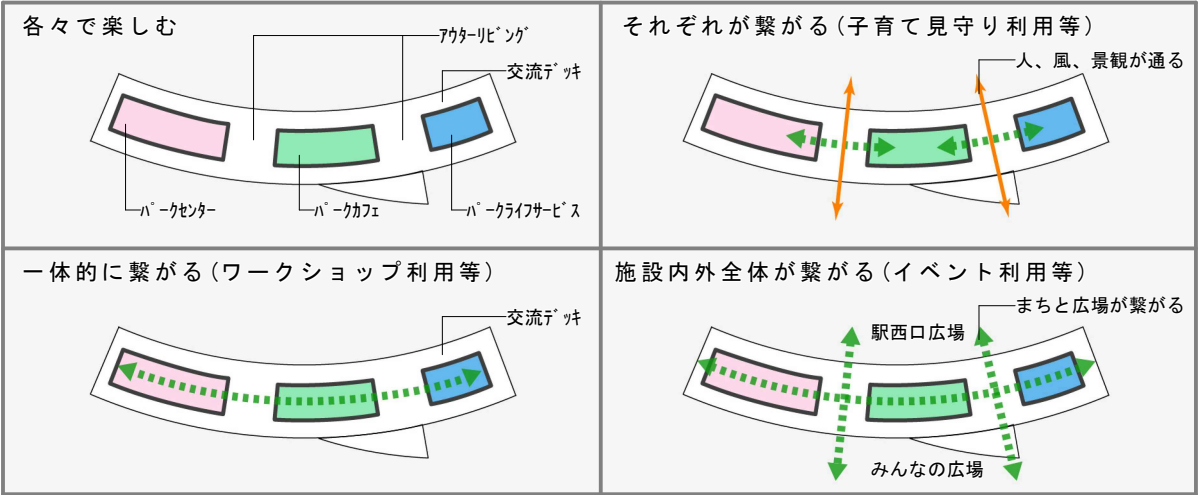


沿道の景観については、透明度の高いデザインを心掛けます。
内部の機能や動きがそのままファサードになるような開放的なものとします。
又、建物をスリットで繋ぎ風や風景を通し新しい街の景観の一体化を図ります。
この施設づくりがコンパクトシティの一役を担います。

○独立性と共用性の一体化によりフレキシブルに利用できる交流施設

交流施設[パークセンター、パークカフェ、パークライフサービス]

南北に長く伸びやかなパークセンター、パークカフェ、パークライフサービスは内外空間が連続し多様な活動を創出します。駅側にも芝生広場側にもテラスを備えた透明度の高いデザインとします。木構造(小屋)を表しとした一般材による在来工法を基本とします。コストに配慮しつつ、西ノ内紙など地域の素材を内装に用いるなど、簡素であるがオシャレ度の高い施設を考えます。





芝生広場を中心に輪を結ぶように施設を配置し、見守りあえる安全な公園づくりを考えます。

○駅周辺からの自然な人々の流れを創出し交わりあう動線計画

- ・多様なアクセス空間を設けることで人々の動線が交じりあい、様々な交流のきっかけを誘発し賑わいを創出します。
- ・ヘルスロードにつながるウォーキングコース(福祉のみち)を外周部に設けることで、自由に施設へアクセスできる動線計画を考えます。
- ・わかりやすく移動しやすいユニバーサルデザインな歩行空間を考えます。

○施設管理運営の検討

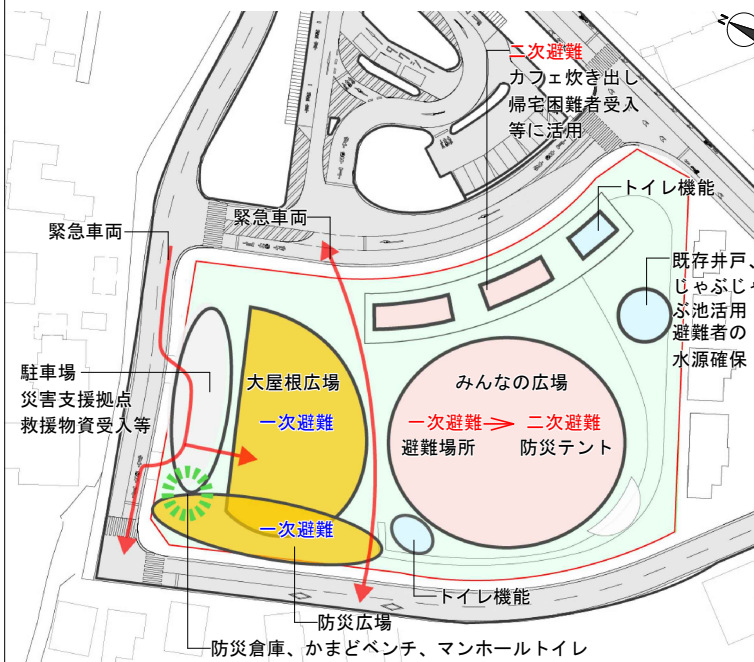
今後の施設運営方法により、

1. 常時開放型の管理計画
(利用者がいつでもどこでも好きな時に公園を楽しめる)
2. 開放限定型の管理計画
(夜間等の利用を制限することにより安全性の確保がしやすい)

どちらにも対応できるようなフレキシブルに対応できる公園づくりを考えます。

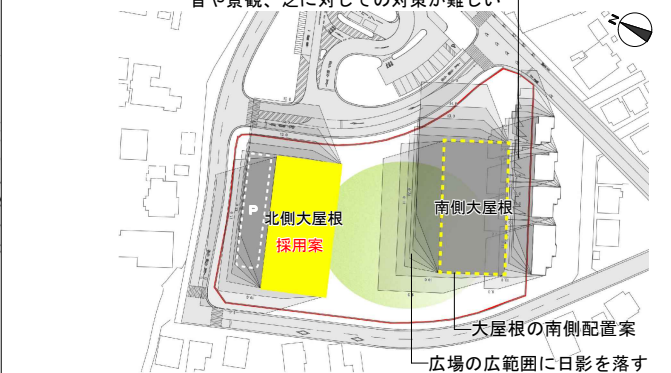
○全体に防災機能を持たせた災害時対応検討

全体に防災機能を備え、一時避難場所として避難者の受け入れから、段階的な避難所運営を可能とし、帰宅困難者も対応する、まちの防災拠点を考えます。



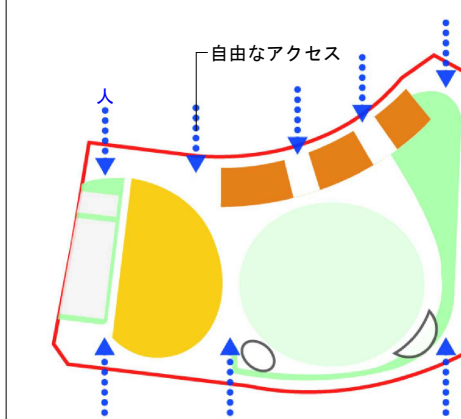
○周辺環境に配慮した大屋根広場の配置検討

ある程度の高さを必要とする大屋根広場について、敷地内北側又は南側配置パターンを検討し適切な配置計画を考えます。(音、日陰、芝生の生育、圧迫感)

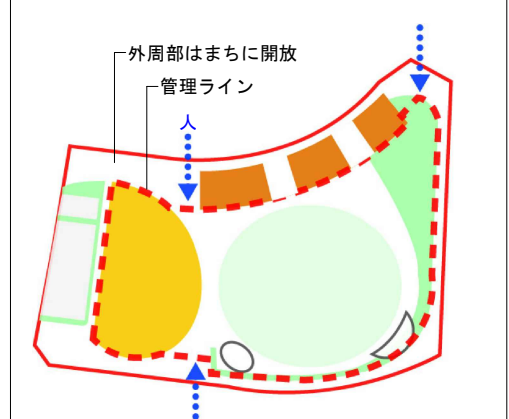


比較項目	北側大屋根	南側大屋根
騒音の配慮	駐車場と道路により距離がとれる	南側に住宅が隣接し対策がとりにくい
日影の影響	隣地への影響は小さい	大屋根と住宅間の環境が悪い
芝生の生育	良い	日影により生育しにくい
隣地への圧迫感	道路を挟むので軽減される	住宅への圧迫感が感じられる

1. 常時開放型の管理計画



2. 開放限定型の管理計画



施設平面の基本的な考え方

1. 交流拠点ゾーン

駅や広場、景観、風、光などを緩やかにつなぎます。個々の独立性と共用性を合わせ持つ空間構成が多様な交流を生み、見守りやすい安全性を創出します。

2. 創作遊具広場ゾーン（異世代交流ゾーン）

大屋根広場、創作広場、こども広場といった成長過程に合わせた遊びを選択できる場とします。各々の創造性を高め、未来を担う人材を育む場を創出します。見通しやすい空間やインクルーシブな遊具を取り入れ、安全安心に多様な人々が楽しめる場を考えます。



北エントランス広場

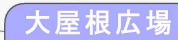
常陸大宮駅から流れる人々
を自然と施設へ導く
賑わいのあるエントランス空間

創作広場

地元の職人が伝統工芸を教えたり、自分たちで遊具を作ったりできる創造性を育める異世代交流広場

駐車場

ハンディキャップ、電気自動車
など多様な駐車が可能



それぞれが各々楽しめる遊具広場成長過程や気分
に合わせた遊びを選択できる自由な遊び場
災害時の **1次避難場所** として活用

パークマルシェ

大屋根広場を見守りながらマルシェ
が開催できる広場
災害時は荷下ろし等の防災広場となる

トイレ棟

こどもと一緒に入れるオムツ替え
スペースのある明るいトイレ
ボランティアコーナーを併設

ウォーキングコース

1周320mの遊歩道で車いすでも安全に通行できるバリアフリーの道（福祉のみち）兼メンテナンス道路

